

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 光久福祉会 おあしす			
○保護者評価実施期間	2024年5月1日 ～ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2024年5月1日 ～ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	担当の支援員を固定し、基本的にマンツーマンで支援にあたっている。	まずは担当支援員と信頼関係を築くことを優先し、子どもだけでなく保護者にとってもおあしすが安心できる人・場所であることを認識してもらえように努めています。担当支援員がその子だけに合った課題や活動を徹底的に考え、そのため手作り教材を使った支援が多くなります。	担当支援員が独り善がりにならないように、他の職員と連携を取りながら、最も良い支援が行えるように努めて参ります。
2	それぞれ専門性を持つ職員体制がある	多様な専門性を持つ職員が在籍しています。保育士、理学療法士、体育教員免許、看護師、特別支援学校教員免許、幼稚園教員免許があります。開所日にはそれぞれの専門性を持つ職員が自分の専門分野の知識を活かしながら、他の職員と情報交換や意見を交わし連携を取りながらチームで支援に取り組んでいます。	各自が持つ専門性を、利用の子ども達全員に最大限に活かせるように、職員間でより密な連携を取りながら支援を行います。
3	活動を行うスペースが十分に確保されている	施設は、一階の集団活動を行うひまわりの部屋(68.12㎡)と個別支援を行うチューリップの部屋(16.98㎡)があります。玄関ホール(12.44㎡)もゆったりとした空間で、水を使った活動を行っています。また床暖房も設置されており、体温調節が苦手な子どもでも安心して過ごすことができています。トイレ(7.27㎡)は座位・立位の子ども用の便器があります。	2階はより広い空間となっており、イベントなどでダンス教室などに利用したり、保護者がゆったりと過ごせるスペースとして活用していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援のための研修等の実施について	開所(9:00)から活動が終わる(16:30)までそれぞれの部屋を使っており、研修を行うためのスペース確保が難しい要因があります。	障がい児通所支援事業所として開所していない土曜日などに、保護者向けの研修を行えるように取り組んでいきます。
2	事業所内で取り組んでいる研修や訓練などの情報発信について	職員間で行っている研修等の発信はしていません。課題や活動内容の報告のみ、保護者にお伝えしています。	ホームページやSNSで発信していくように努めて参ります。
3	園や地域の子どもの交流について	利用されている子ども達の年齢が低いこともあり(1歳児～年長児がほとんど)、まずはおあしすの支援員と信頼関係を築くことを大切に支援を行っています。	月一回のイベントを通して、子どもだけでなく様々な年齢の人達と交流を図れるように取り組んでいきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
社会福祉法人 光久福祉会 おあしす		2025/4/28					35		28	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつも綺麗に片づけられていて、走り回れるスペースがある。		跳び箱、鉄棒、トランポリン、マットなどの運動器具を設置しても、まだ十分に走り回れる余裕のある大きな部屋があります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	89%	0%	0%	11%	担当の方がお休みでも、他の方が担当してくれるので安心してしています。		個別療育を行っているので、マンツーマンで対応できるように職員配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	86%	11%	0%	3%	机が壁に向かって置いてあったり、仕切りがされている。子どもが目で見えわかるスケジュールが出来ている。		余計な情報や刺激がないように、また視覚支援を用いた構造化された環境を整えるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつも綺麗に掃除されています。		清掃（消毒も含む）は毎朝職員全員で行っています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	0%	0%	3%	帰ってきてから落ち着きがあり、意欲的になる日が多いです。		担当支援員を固定し、担当の子どもの特性を踏まえた課題や活動を考えて取り組んでいます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%			公表プログラムと提供している支援内容の相違がないように、取り組んでいます。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	我が子にあった教材を手作り仕手く下さり、親子共々嬉しく思ってます。		児童発達支援管理責任者だけでなく、担当支援員や他の支援員の意見も聞きながら、個別支援計画書を作成しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	3%	0%	0%	自宅では出来ないことを工夫して興味がわくように手作りされていてすごいです。		児童発達支援ガイドラインに沿って、計画書を作成しています。長期目標、短期目標、具体的な到達目標を設定し、支援内容を考え支援に取り組んでいます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	計画に沿って丁寧に支援していただいています。		支援の方向性を軸に目標に向かって取り組んでいます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	毎回違う内容なので、子どもが楽しいと言っています。		子どもが「おもしろそう！やってみよう！」と思うことを大切にしながらプログラムを作成しています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	60%	11%	7%	22%	イベントを開催してくださっているの、地域の子どもと活動できていると思います。		月一回、誰でも参加できるイベント（ミュージックケアやアロマ教室、親子ダンスなど）を開催しています。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	分かりやすく説明していただきました。		おあしすの事業内容だけでなく、障がい児通所支援事業の制度についてもご説明させてもらっています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%			前もって個別支援計画書を確認して頂いております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	78%	11%	0%	0%			保護者向けの研修は今後行う予定です。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	毎回どんな様子だったかを教えていただいているのですが、伝え合いとなると微妙です。		利用後に、その日に取り組んだ課題や活動内容とその評価や様子を写真を添えてお伝えしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	79%	15%	3%	3%	アドバイスしていただいています。		定期的にはないですが、保護者より質問や相談事があった際には、面談等を実施しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	97%	0%	0%	3%	LINEや連絡帳でいつもお世話になっています。いつも前向きに子育てができるように声掛けをして頂いてます。		保護者の気持ちに寄り添うように、今後引き続き関わっていきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	66%	10%	3%	21%	前回のイベントで兄妹2人とも大変楽しんでいました。		保護者会などは行っていません。保護者同士の交流が持てるように、座談会をイベント後に実施しています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	97%	3%	0%	0%		公式ライン、連絡帳、電話などで対応できるように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		意思の疎通が難しい際など（子どもの場合）、視覚支援を用いた方法でお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	91%	3%	3%	3%		今後もSNS（Instagram）を開設していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	3%	0%	0%	他のお子さんの顔をスタンプで隠す等、配慮してくれていると思います。	利用者の個人情報は鍵付き書庫で保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44%	0%	0%	53%		職員には定期的に研修を実施しています。避難訓練も定期的に行っています。各マニュアルはいつでも誰でも閲覧できるように玄関ホールに設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36%	0%	0%	64%	訓練されているのわかりません。	職員間では緊急時における体制について周知しております。子どもに対しては2か月に一回、避難訓練を実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	71%	3%	0%	0%		職員間では子どもの安全を第一に考え、日々支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75%	3%	0%	0%	入所時に説明がありました。	利用時に体調不良や怪我等があった際には、状況に応じて電話連絡や公式ラインで保護者にお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	86%	11%	0%	0%		「安心・安全」を徹底して、今後も取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	89%	11%	0%	0%	どれだけ機嫌が悪くても行きたいというように今後も職員一同努めて参ります。	おあしすが「楽しい場所」のひとつとなるように今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	93%	7%	0%	0%		保護者の皆様からのご意見を聞かせて頂き、支援内容を充実したものになるように今後も努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 4月 28日				
社会福祉法人 光久福祉会 おあしす						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	支援室は十分な広さを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	決められた人員配置以上の職員数を配置できている。	数人の職員が一度に休んだ場合など、体制が取ることが難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚支援を用いた構造化された環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清掃（消毒も含む）は毎日限なく行っている。	大型の空気清浄機を設置する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	集団活動を行う部屋と、個別支援を行う部屋が分かれて確保できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	研修等を通じて行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価結果をまとめた内容を活かして、支援に反映させている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	常に職員間で意見交換を交わし、改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	29%	71%	社会福祉法人光久福祉会の全体の外部評価を行っている。	今後も引き続き、第三書による外部評価を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	社会福祉法人光久福祉会の全体研修だけでなく、おあしすだけの研修も随時行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	子どものアセスメントは保護者だけでなく、園の先生方々のも行なって計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	全職員で話し合う機会を設け作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	担当支援員が中心となり、支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	行動観察だけでなく、新版K式発達検査、LDT-R（言語解読能力テスト）なども確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援ガイドラインに基づいた支援内容を確認しながら設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	全職員で取り組んでいる。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	子どもに飽きがこないように楽しく取り組めるように、工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	基本的には担当支援員がマンツーマンで支援を行うが、小集団活動も必ずプログラムには入っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	送迎業務等で全職員揃っての打ち合わせは難しい。	業務日誌を共有・確認しながらチームで連携していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	送迎業務等で全職員揃っての打ち合わせは難しい。	業務日誌を共有・確認しながらチームで連携していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	担当支援員がその日に提供したサービスや支援の内容の記録を行っている。その日のうちに振り返りも行い、改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最長6ヶ月にモニタリングと個別支援計画書の見直しを行っている。目標が達成されれば計画書の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者と担当支援員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の保健センターや公のこども教室の職員と連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者や園の了解を得ながら、園の様子を尋ねたり見学に行ったりし、情報共有と相互理解に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	72%	28%	卒所児がほほえないため、できていない。	担当者会議棟を設けて、支援内容等の情報共有と相互理解を図るようにする。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	担当者会議等を通じて行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	72%	28%	月一回のイベントで、交流の機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	公式ラインや連絡帳、電話などで伝え合っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	研修の機会を設けるための場所・時間・職員配置が難しい状況。	開所日以外の日を設けて、行うように努める。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	最初の見学や契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご希望があれば面談等を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	公式ラインなども利用して様々な方法で得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談事があれば、直ちに行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	86%	14%	誰でも参加できるイベントとして実施している。	保護者支援として、保護者同士の交流が持てるような機会を設けるように努めている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者からの相談事があった際には、直ちに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	利用者に対しては行っているが、一般の人達にはしていない。	ホームページやSNS（インスタグラム）を通じて発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き書庫に個人情報を保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもには構造化された環境や視覚支援を用いた支援を提供している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	月一回のイベントを行い、地域に開かれた事業所になるように努めている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	29%	71%	各マニュアルは作成・呈示しているが、保護者全員に周知できているかどうかは把握できていない。訓練は行っている。	ホームページやSNS（インスタグラム）を通じて発信していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BPCを基準にして、訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートや面談等で確認できている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	医師の指示書が必要な利用者がいない。	今後、アレルギーに配慮する利用者があった場合は対応できるように努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	安全計画は作成しているが、研修が十分ではない。	研修を充実できるようにする。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%	保護者に周知できているかは把握できていない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット、事故報告書を作成し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	86%	14%	身体拘束については法人で決定しているが、支援計画書には記載できていない。	こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載していく。

